



別冊治安フォーラム

国際テロリズムの潮流

■ 国際テロ研究会 編著 ■ A5判 ■ 並製 ■ 192頁

定価 (本体 1,800円 + 税) 送料 300円

ISBN978-4-8037-1542-2 C3036

本書のポイント

激しく変貌する国際テロ情勢を詳しく分析！

イスラム過激派の動向などを、対象、手段、我が国への脅威といった視点で解説。2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会等の開催を控え、国際テロの理解に役立つ15本の論考を収録。

近年の情勢の変化を踏まえて大幅に加筆！

近年の『治安フォーラム』バックナンバーから13本の論考を厳選し、2本の書き下ろしを追加。単行本化に当たり、初出時の内容を最新のものに改めた。

各種昇任試験対策にも使える！

外国人テロリスト戦闘員、ホームグロウン・テロリスト、ローン・ウルフ型テロ、「よど号」犯人グループによる拉致容疑など、昇任試験で問われ得る項目を詳しく解説。

内容見本

スポーツ・イベントを標的としたテロ

鶴ヶ崎 怜之

1 はじめに

我が国で
ピック・パ
模のスポー
うした大規
目を浴びる
ていると言
ロ対策に重
本稿では

「ISIL」の脅威との闘い

～我が国でイスラム過激派による国際テロを未然に防ぐために講じなければならないことは何か～

高岡 慶人

1 はじめに

は声を
国際テ
も燃え
れまで
カーイ
その
日本国
外のテ
継続し
の脅威
読者は
的な意
なって
ければ

外国人テロリスト戦闘員

本多 潤一

1 はじめに

17年12月21日、国際連合安全保障理事会は、外国人テロリスト戦闘員 (Foreign Terrorist Fighters: FTF) に関する問題に焦点を当て、FTFによもたらされる脅威、問題に対処するための取組を加盟各国が行うことを国連安保理決議 (United Nations Security Council Resolution: CR) 第2396号を採択した。

決議は、2014年9月24日に採択されたUNSCR第2178号で指摘されたの問題から、イラク・シリアのISIL (Islamic State of Iraq and the Syria) の衰退を経た今、FTFの現状に対応するように更新されたものともいえる。

約3年半前頃までにイラク及びシリアで徐々に、しかし確実に勢力を拡大させていったイラクのアル・カーイダの後身組織であるイラクとレバント

日本赤軍

～活動44年、今何を思う～

掉尾 泰斗

1 はじめに

「過渡期世界論」「前段階武装蜂起から革命戦争へ」

この言葉を聞き、現在の若者の多くは首を傾げるだろう。一方、1970年代を学生として過ごした世代にとっては思い出されることも多いのではないだろうか。「反日」「反権力」「帝国主義粉砕」を声高に叫ぶことが一種のファッションともなっていたと言われている「その時代」。ある者は現実社会の中に矛盾を感じ、また、ある者は日本の将来を案じ、それ故に、多くの若者が主張し、行動していた。

数人の若者達が、共産同赤軍派の打撃を受けて中東の地を踏んだのも、ちょうど

テレビで生中継される「あさま山荘事件」を因循を飲んで見守り、その後に明らかとなった「リンチ殺人事件」に驚愕したことが、まるで昨日のこと



目次裏面参照 ▶▶▶

第1章 イスラム過激派の動向と我が国へのテロの脅威

外国人テロリスト戦闘員

- FTF と外国人戦闘員
- 2178 から 2396 への更新点
- FTF たちの岐路
- 移動を果たした FTF たちの脅威
- FTF の同行家族たちの問題
- 航空機の利用と航空機利用テロ
- 刑務所の問題

スポーツ・イベントを標的としたテロ

- スポーツ・イベントが標的となった事案
- 五輪に伴うテロ関連動向
- スポーツ・イベントに関連するイスラム過激派のプロパガンダ
- 東京大会等への脅威評価

車両突入によるテロ

～"easy-to-use tools" が真の凶器となる脅威～

- プロパガンダと事件の関係
- 車両突入によるテロの特徴点

『インスパイア』で紹介された手製爆発物

- 圧力釜を使用した爆発物 (Pressure Cooker Bomb : PCB)
- プロパンガスを使用した爆発物
- 探知されない爆発物 (Hidden Bomb : HB)

自爆攻撃

- 自爆テロ攻撃の歴史
- 女性による自爆テロ攻撃
- 自爆テロ攻撃の手法

『ISIL』の脅威との闘い

～我が国でイスラム過激派による国際テロを未然に防ぐために講じなければならないこととは何か～

- 国際社会を取り巻く国際テロの重大な脅威
- 外国人戦闘員流入の現状
- 外国人戦闘員を引き付ける要因
- ISIL に共鳴・参加した可能性を有する者による実際のテロ事例
- 我が国に対する国際テロの脅威
- 我が国における国際テロ対策

【追記】

- 東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会を見据えたテロ対策の強化
- 新たに追加された対策
- 新たな対策が追加された背景

「アラブの春」を振り返って

～「アラブの春」の運動とソーシャルメディアが与えた影響～

- 「アラブの春」各国の状況
- ソーシャルメディア (SNS) が「アラブの春」に与えた影響

我が国における国際テロの脅威

- 【参考】スポーツイベントを標的にした国際テロ
- 米国・ボストンにおける爆弾テロ事件
- 日本における国際テロの脅威
- 日本国内等で発生したテロ事件
- テロ対策の取組

第2章 日本赤軍及び「よど号」グループ

日本赤軍 ～活動 44 年、今何を思う～

- パレスチナに活路を求め
- 虚しく空々しい解散宣言
- 混迷する中東情勢に今、何を思う

大人になれない「よど号」犯人グループ

- 「よど号」ハイジャック事件
- 北朝鮮支配下の「よど号」犯人グループ
- 「よど号」犯人グループによる拉致容疑
- 帰国に向けた主張の変遷

第3章 国際テロ情勢

2017 年の国際テロ情勢を振り返って

- ISIL の現況
- 2017 年中のイスラム過激派等によるテロ事件
- 我が国に対するテロの脅威
- 日本赤軍と「よど号」グループ

2016 年の国際テロ情勢を振り返って

- ISIL をめぐる情勢
- 2016 年中のイスラム過激派によるテロ事件
- 日本を標的とする国際テロの懸念
- 日本赤軍と「よど号」グループ

伊勢志摩サミットをめぐる国際テロ情勢

- G7 各国をめぐるテロ情勢
- 日本におけるテロ対策

2015 年の国際テロ情勢を振り返って

- ISIL をめぐる情勢
- 2015 年中の各地のテロ情勢
- 日本を標的とする国際テロの懸念
- 日本赤軍と「よど号」グループ
- 現下の国際テロ情勢を受けての政府の取組

2014 年の国際テロ情勢を振り返って

- 「イスラム国」を称した ISIL
- 2014 年中のイスラム過激派によるテロ事件
- 日本を標的とする国際テロの懸念
- 日本赤軍とよど号グループ

FAXでのご注文は、切りとらずにそのままご送信ください。FAX 03-3233-2871

申込書

* 別冊治安フォーラム
国際テロリズムの潮流

合計 _____ 部

ご所属名	庁	道府県
(署・隊・課)		

ご担当者名 _____ (TEL: _____)

係名	氏名

係名	氏名

(ご記入いただいた個人情報は、購入申込み及びそれに伴うご連絡・弊社図書ご案内に利用させていただきます。)

*お申込みは合計部数だけでも承ります。



立花書房

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-28-2
TEL:03-3291-1561(代表) http://tachibanashobo.co.jp